

## 八丈島の火山活動解説資料（令和2年12月）

気象庁地震火山部  
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。  
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

### ○ 活動概況

#### ・噴気など表面現象の状況（図1）

楊梅ヶ原<sup>ようめがはら</sup>監視カメラ（西山山頂の南南東約5km）による観測では、西山山頂部に噴気は認められません。

#### ・地震や微動の発生状況（図2－①②）

今期間、八丈島周辺に震源が求まる地震は観測されず、地震活動は低調に経過しています。火山性微動は観測されていません。

#### ・地殻変動の状況（図2－③、図3）

GNSS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。



図1 八丈島 西山山頂部の状況  
(12月11日、楊梅ヶ原<sup>ようめがはら</sup>監視カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（[https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)）でも閲覧できます。

次回の火山活動解説資料（令和3年1月分）は令和3年2月8日に発表する予定です。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料の地図の作成に当たっては、国土地理院発行の『数値地図 50mメッシュ(標高)』『数値地図 25000(行政界・海岸線)』を使用しています。

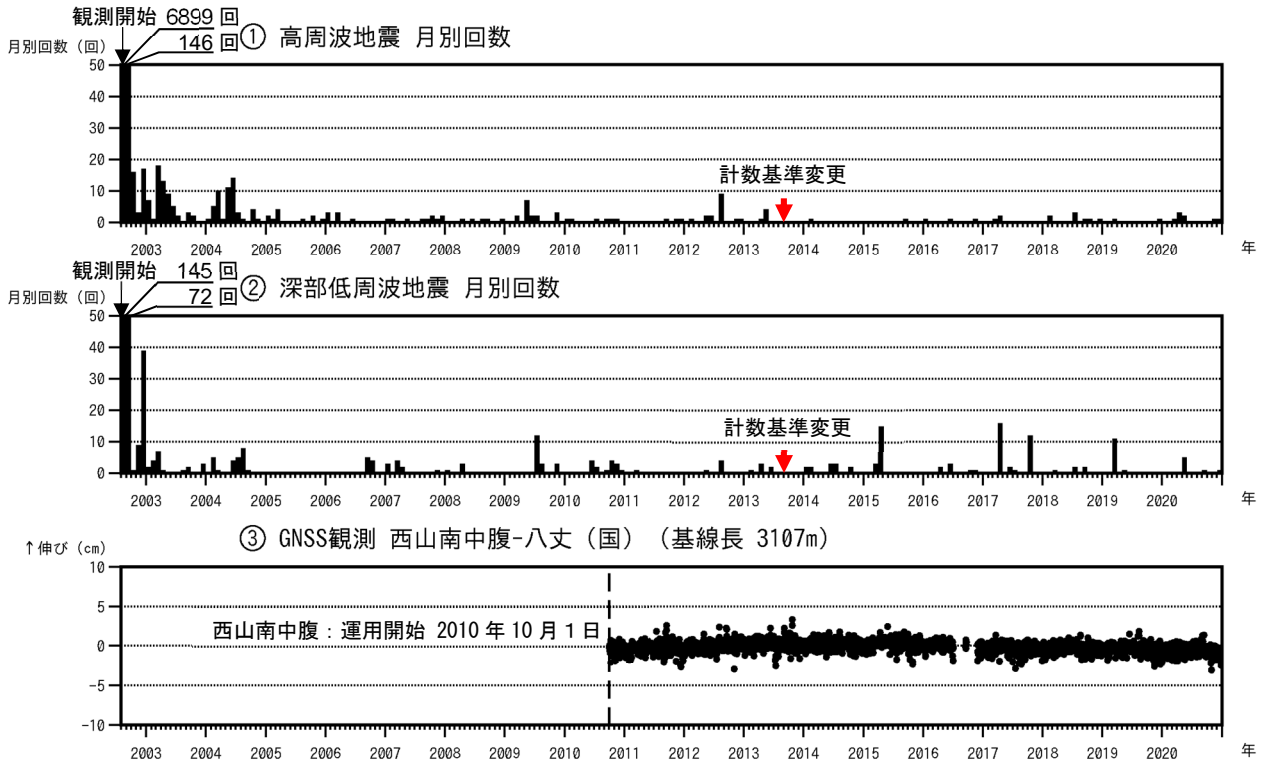


図2 八丈島 火山活動経過図（2002年8月13日～2020年12月31日）

- ①、② 地震回数の計数基準は以下のとおり  
 2013年8月31日まで八丈島三根 振幅 $5\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間3秒以内  
 2013年9月1日から西山南東山麓 振幅 $2\mu\text{m/s}$ 以上、S-P時間3秒以内
- ③ 図3の基線③に対応しています。グラフの空白部分は欠測を示しています。  
 (国)：国土地理院

- ・地震活動は低調な状態で経過しています。
- ・GNSS連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。



図3 八丈島 観測点配置図

- GNSS基線③は図2の③に対応しています。
- 小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。  
 (国)：国土地理院  
 (防)：防災科学技術研究所  
 (都)：東京都